

評価者	共創計画部長	比留間 彰
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	多文化共生	施策の方針	多文化共生社会の推進
目標とすべきまちの姿	国籍や民族の異なる人々が互いの文化を認め合い、情報交換や情報発信がさらに促進されるとともに、公共施設利用案内の翻訳や改善が行われ、だれもが安全で安心して暮らせるまちとなっています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	35.7%	平成30年度(2018年度)	37.2%	平成29年度(2017年度)	38.7%
	平成28年度(2016年度)	42.5%	平成27年度(2015年度)	40.6%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果			
必要以上の効果	1.6%	1.3%	0.0%
ちょうどよい	3.5%	32.2%	1.1%
効果不十分	8.6%	4.5%	5.3%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果			
必要以上の効果	3.0%	0.7%	0.0%
ちょうどよい	2.5%	30.9%	0.7%
効果不十分	5.5%	5.3%	9.6%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果			
必要以上の効果	2.5%	0.4%	0.0%
ちょうどよい	2.8%	29.5%	1.2%
効果不十分	5.4%	4.7%	9.7%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果			
必要以上の効果	2.0%	0.5%	0.0%
ちょうどよい	2.5%	28.8%	0.5%
効果不十分	5.3%	5.2%	6.9%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成27年度(2015年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果			
必要以上の効果	2.0%	0.6%	0.0%
ちょうどよい	1.6%	27.9%	0.7%
効果不十分	5.7%	3.0%	11.0%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

### (3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	13.6%	35.7%	9.3%	41.4%
平成30年度(2018年度)	16.4%	34.0%	8.4%	41.2%
平成29年度(2017年度)	18.5%	29.2%	8.8%	43.6%
平成28年度(2016年度)	14.2%	29.8%	9.1%	46.9%
平成27年度(2015年度)	16.9%	28.9%	7.4%	46.8%

## 2 内部評価

### (1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①中学生による「鎌倉市ジュニア訪問団」を結成し、姉妹都市提携40周年を迎える萩市を訪問する。(共創-19)
- ②オリパラのホストタウン国であるフランスのセーリングチームと国際交流事業を実施する。(共創-18)
- ③市民通訳ボランティアに対する研修等を実施し、その活動の活性化を図る。(共創-18)
- ④ボランティア組織による災害時多言語支援センターの設置を行う。(共創-18)

### (2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①若い世代が他市の歴史や文化を学び、他市の中学生と交流することで、情報交換や情報発信がさらに促進される。(共創-19)
- ②国籍や民族の異なる人々が互いの文化を認め合い、情報交換や情報発信がさらに促進される。(共創-18)
- ③公共施設利用案内の翻訳が行われ、誰もが安全で安心して暮らせるまちに近づいていく。(共創-18)
- ④災害時の情報の翻訳が行われ、誰もが安全で安心して暮らせるまちに近づいていく。(共創-18)

### (3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
		令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
共創-18	国際交流推進事業	4,370	4,328	1.0	0.5	無	b	B
共創-19	都市提携事業	2,210	1,911	1.0	0.5	無	b	B

### (4) 主な実施内容

#### 【主な実施内容】

- ①中学生による「鎌倉市ジュニア訪問団」を結成し、姉妹都市提携40周年を迎える萩市を訪問し交流を深めた。また、11月3日の市制80周年記念式典で参加中学生による報告発表を行うとともに萩市の中学生、高校生にも来訪参加いただき交流を深めた。(共創-19)
- ②オリパラのホストタウン国であるフランスのセーリングチーム代表選手と深沢小学校児童の交流事業及び江の島ヨットハーバーでの市民との交流イベントを実施した。(共創-18)
- ③市民通訳ボランティア等に対する研修を実施した。(共創-18)

#### 【実施できなかった事業とその理由等】

- ④ボランティア組織による災害時多言語支援センターの設置に向けた検討ができなかった。(共創-18)

### (5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善

#### <上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

- ・市制80周年及び萩市との姉妹都市提携40周年を記念して実施した公募中学生による萩市への訪問交流事業と市制80周年記念式典への萩市中高校生の参加により交流を深められた成果からも妥当性、有効性は適切である。(共創-19)
- ・フランス国のホストタウンとしてフランスセーリングチームと市民との交流事業は、より多くの市民との交流及び効果的な内容の検討等の課題もあり、公平性は要改善とした。(共創-18)
- ・災害時多言語支援センター設置検討に着手できなかったことは、今後の課題であり、要改善と判断する。(共創-18)
- ・都市提携、国際交流推進(国際交流フェスティバル)については、継続的に取組みを進めているものの、参加者、事業効果に一定の限界が感じられ見直しが必要と考える(効率性を要改善とした。)(共創-18、19)

### 3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	共創-18	事業名	国際交流推進事業					単位	団体	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	国際交流フェスティバルの規模(参加団体数)						単位	団体	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
当該事業の主要イベントであり、イベント規模を測る指標であるため。	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0					
	実績値	20.0	17.0	18.0	17.0	18.0	18.0					
	達成率	100.0%	85.0%	90.0%	85.0%	90.0%	90.0%					

  

整理番号	共創-18	事業名	国際交流推進事業					単位	回	指標の傾向	↗	備考
指標の内容	市民通訳ボランティアの活動実績(派遣回数)						単位	回	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
国際交流の担い手となることから、活動件数が事業の推進状況と比例するため。	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	20.0	5.0					
	実績値	0.0	3.0	7.0	1.0	0.0	1.0					
	達成率	0.0%	60.0%	140.0%	20.0%	0.0	20.0%					

  

整理番号	共創-19	事業名	都市提携事業					単位	件	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	鎌倉市パートナーシティ制度による都市提携数						単位	件	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
提携都市を拡大することで、市民による都市交流がより促進されるため。	目標値	4.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0					
	実績値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0					
	達成率	100.0%	80.0%	80.0%	66.7%	66.7%	66.7%					